

音楽科（一般）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 1em;">○○○○ ○○○○○</div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける上で、題材の設定、題材構成、教材の配置など、どのような工夫がされているか。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにどのような工夫がされているか。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うためにどのような工夫がされているか。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○歌唱教材の選択において、音域や演奏の難易度等を含めて、どのような工夫が見られるか。 ○創作教材の選択において、無理なく取り組ませるためにどのような工夫が見られるか。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○生活や社会の中の音や音楽の働きの視点や、音楽文化を継承、発展、創造していかうとする態度の育成のためにどのような工夫がされているか。</p>	
資 料	○学習意欲を高めたり、発想を広げたりするためにどのような工夫が見られるか。 ○挿絵・写真・図表等の資料のレイアウトにはどのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○表現教材や鑑賞教材の譜例の使い方など、楽譜の提示方法にはどのような工夫が見られるか。 ○音符、休符、記号、音楽に関わる用語の取り扱いにはどのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学音楽 音楽のおくりもの</h2>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p> ＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞ ○「指揮をしてみよう」では、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して表現するための解説が示され、発達の段階に応じて習得できるように工夫されている。 ○「Let's Sing!」では、歌唱表現の基礎的な技能や創意工夫して表現するための解説が示され、教科書に書き込みながら学習できるよう工夫されている。 </p> <p> ＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞ ○各教材の「ACTIVE!」、「Let's Sing!」では、曲の要素や雰囲気について直接書き込み、思考が深められるよう工夫されている。 ○各学年の「どんな特徴があるかな?」では、曲の特徴を言葉で表現し、話し合う構成になっている。 </p> <p> ＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞ ○「話し合おう」では、音楽表現を主体的に工夫する過程を重視した具体的な内容が取り上げられ、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されている。 </p> <p> ＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞ ○歌唱教材では、楽曲分析の手順やヒントが示されており系統的・発展的に学べるよう工夫されている。 ○創作教材では、テーマやことばをリズムと関連付け、まとまりのある作品ができるように工夫されている。 </p> <p> ＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞ ○「私たちのくらしと音楽」では、アウトリーチ、教育活動、音楽療法について取り上げ、意識的に音楽の意味や価値について考えることができるように工夫している。 ○MP3や著作権について示し、作品や著作権の創造性を尊重する態度を形成し、音楽文化の継承、発展、創造を支えることの理解を促す工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○鑑賞教材では、特徴を理解するための書き込み欄や対比表を使い、考えるポイントが掲載されている。 ○巻末では、様々な音楽や楽器の説明が、写真を加え整理して掲載されている。 ○二次元コード「まなびリンク」には、教科書の内容にリンクした動画や音声等が準備されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○目次や各ページの見出しは表現、創作、鑑賞ごとに色分けされて表記されている。 ○教材に関連する音楽用語や記号が該当ページに示され、巻末の「楽典」には、掲載ページも示されている。発展として「音ってなあに」、「音の三要素」が掲載されている。 </p>	
総 括	<p> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びのユニット」で年間の学習内容を関連付けて示している。 ○様々な音楽について比較して学習し、共通性と固有性を考え、音楽文化の理解を深める工夫がされている。 </p>	

書名 項目	<h1>中学生の音楽</h1>	27 教 芸
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「指揮をしてみよう！」では、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して表現するための解説が示され、発達段階に応じて習得できるように工夫されている。 ○「My Voice」では、発達段階に応じた歌い方が紹介されている。また、民謡・長唄では、絵譜を使って発声の特徴が示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教材では音楽を知覚する際の焦点が示されている。また、各学年の「音楽を形づくっている要素」では、教材の譜例と要素が説明されている。 ○「深めよう！音楽」では、どのように演奏したいのか言葉で表現し、書き込めるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「深めよう！音楽」では、音楽表現を主体的に工夫する過程を重視した具体的な内容が取り上げられ、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材では、曲の構成を細かく分析できるような表を使い、創意工夫を生かせるように配慮されている。 ○創作教材「My Melody」では、個の基礎力を習得し、「Let's Create!」では、協働的な創作活動を体験し、発展的な学習ができるように工夫されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生活や社会の中の音楽」では、音楽の役割、アウトリーチ、仕事と音楽等を取り上げ、意識的に音楽の意味や価値について考えることができるように工夫している。 ○音楽メディアの変遷や著作権等を示し、作品や著作権の創造性を尊重する態度を形成し、音楽文化の継承、発展、創造を支えることの理解を促す工夫がされている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材のページに学習目標・音楽を形づくっている要素が示されている。 ○「社会を映し出す音楽」「耳でたどる音楽史」等の資料では、実際に音で確認ながら全体をイメージできるように工夫されている。 ○QRコードが示されている教材では、動画や音声などの情報を視聴、閲覧することができる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文などには、UDフォントが使用されている。 ○目次や各ページの見出しは表現、創作、鑑賞ごとに色分けされて表記されている。 ○教材に関連する音楽用語や記号が該当ページに示され、巻末には「音楽の約束」として楽典資料が掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○表現と鑑賞がバランスよく配置され、「学びの地図」で年間の学習内容が見通せるように示している。 ○中学生が地元の祭や芸能に携わる場面を紹介し、郷土の音楽文化を継承していこうとする態度の育成のための工夫がされている。 	

音楽科（一般） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	教出	教芸
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	92	98
	2・3年上	92	98
	2・3年下	92	98

○学習活動別教材数について

内容	学年	教出	教芸
1 楽譜の付いた表現（歌唱）教材の数	1年	19	25
	2・3年上	18	22
	2・3年下	18	18
2 表現（創作）教材の数	1年	2	3
	2・3年上	2	3
	2・3年下	2	2
3 主となる鑑賞題材の数	1年	6	7
	2・3年上	9	7
	2・3年下	9	9
4 例示している鑑賞教材の数 ※ 民謡等はそれぞれカウント ※ 作曲家紹介や年表等の楽曲は除く	1年	49	72
	2・3年上	31	64
	2・3年下	18	76

○その他

内容	学年	教出	教芸
我が国や郷土の伝統音楽の扱い（埼玉の伝統音楽の扱いも含めて）	1年	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡は、日本地図を用いて示している。（地図上紹介、埼玉県はなし）「ソーラン節」と「かりぼし切り歌」を表現活動で取り上げている。 箏と尺八を取り上げ、箏では表現活動につなげている。 アジアと日本の声による様々な表現を写真と共に紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡は、日本地図を用いて示している。（地図上紹介「秩父音頭」）「ソーラン節」について、演奏者からのアドバイスが記載されている。 雅楽と箏曲が取り上げられ、「越天楽」の唱歌の体験コーナーがある。 アジアの諸民族の音楽が、日本との聴き比べの視点とともに示されている。
	2・3年上	<ul style="list-style-type: none"> 雅楽と能が取り上げられ、唱歌と謡の体験コーナーがあり、演奏のポイントが記載されている。 日本各地の音楽や芸能について取り上げ、写真と共に特徴が示されている。秩父夜祭が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎と文楽が取り上げられ、長唄と義太夫節の体験コーナーには演奏者のアドバイスが記載されている。 日本各地に伝わる郷土の祭や芸能とその特徴が、写真で示されている。（秩父祭の屋台行事と神楽）
	2・3年下	<ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎と文楽が取り上げられている。歌舞伎では、長唄の体験コーナーがある。 西洋の音楽と日本の音楽を比較して鑑賞するコーナーがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 尺八、能が取り上げられ、謡の体験コーナーには演奏者のアドバイスが記載されている。 郷土の祭や芸能が、中学生が受け継ぐという視点で示されている。久喜市の鷲宮催馬楽神楽を扱っている。